

## 生徒心得

この生徒心得は、本校生徒として心得るべきことの概要を述べたものである。自立・謙虚・不撓の校訓のもと、各人がよりよい学校生活を送るために、以下の基本目標を心に明記し実践しよう。

- (1) 基本的な生活習慣を確立し、自主、自立の精神を身につける。
- (2) 集団生活のルールを学び道徳的実践力を養う。
- (3) 自主活動に積極的に参加し、豊かな創造性、人間性を培う。

以下は本校生としての行動のあり方を具体的に示したものである。各人の自律的行動の指標として守ってもらいたい。

### I 学校生活

#### (1) 礼儀作法・交友関係

- 礼は相互の人格尊重の表れであり、心のオアシスとも言われる。お互いに敬愛の念を持って朝夕のあいさつを交わすことはもちろん、機会あるごとに感謝や敬讓の意を表すこと。また、学習や集会等の場では静粛にすること。
- 言葉づかいは、その人の人格を表す。明瞭な品位ある言葉を使うように努めること。
- 友達との交際にあたっては、質素であり、お互いの勉学や人格を高めあうものであってほしい。男女交際については、常に高校生であるという自覚のもとに明るい交際をすること。

#### (2) 公共物の愛護、所持品の管理

- 校舎内の施設、設備、備品などは全て、よりよい学校を運営していくための貴重なものである。これらの公共物を大切にすること。破損した場合は、学級担任に報告し、指示を受けること。
- 自分の所持品には必ず記名し、自他の区別、けじめをつけること。金銭等の貴重品は身につけておく。不必要な遊戯具、飲食物は持参してはならない。
- 危険物（ライター・ナイフ・オイル等）は持参してはならない。
- 物品を紛失又は拾得したときは、直ちに学級担任や関係の先生に届け出ること。

#### (3) 時間の厳守

- 特別の理由のない欠席、遅刻、早退は、生徒として最も慎まなければならない。また登校後は放課後まで許可なく校外に出てはならない。もし、何らかの事情によって、上記のような事態が起こった場合は、学級担任や関係の先生に届け出ること。
- 集団生活は時間の厳守が不可欠である。授業や集会、登下校等の時刻を厳守すること。

#### (4) 服装、容儀

- 服装や髪型などは心の装いであり、常に質素、清潔、端正であること。
  - 制 服…男女とも各指定店で購入し、改変することは禁止する。休日や休暇中を問わず、登下校及び校外行事等に参加するときは、原則として制服を着用すること。
  - 頭 髪…端正で、清潔感のある髪型であり、他人に不快感を与えないこと。
    - 前髪は目にかからない。パーマ、ヘアカラーおよび脱色禁止。
    - 髪が制服の肩にかかる場合はゴム（黒・紺・茶）で結ぶ。
  - 履 物…スリッパ、体育館・グラウンドシューズは指定されたものを使用する。（靴の踵を踏みつけて歩かないこと）ソックスの色は白・黒・紺・グレーとする。ストッキングはベージュ、タイツは黒とする。
  - バッグ…学校生活に必要な教材等が十分に入るファスナー付きのカバンを使用すること。

防寒着…上着（学ラン、ブレザー、ジャケット）の上から着用すること。

無地を基調としたもので、色は白・ベージュ・黒・紺・茶・グレーのみとする。（前面はワンポイント、背面は無地のもの）

許可されるものは、Pコート、ステンカラーコート、ダッフルコート、ダウンジャケット、ウインドブレーカー、パーカーでボタンタイプかファスナータイプとする。

着脱については、各自の判断で行うこと。

その他…早良高校生として、謙虚を旨とし、高校生らしい態度や状態であること。

化粧、装飾品等は禁止する。（ネックレス、ピアス、カラーコンタクト、イヤリング、ブレスレット等）

スラックスはベルト着用。（ベルトは黒・紺・茶）

※衣替えについては、季節や体調に合わせて調節してよい。ただし、式典等については、以下のように指定する。

10月～5月：冬服      6月～9月：夏服

《くわしい規定については『高校生活のガイドブック』を参照のこと。》

## （5）教科外活動

○諸君の熱意によって教科学習とあわせ、教科外活動に積極的に参加し、高校生活を楽しく、潤いのあるものにしてほしい。

### ・ホームルーム活動

ホームルームは高校生活の基盤である。学級担任の先生や、クラス役員とともに、集団規律の中に生き生きとしたクラスを作りあげてもらいたい。

### ・生徒会活動

学校における自発的、自主的な活動を通じて、一人ひとりの意見を集約し、学校生活の改善と向上を目指すとともに、民主的社会の形成者としての資質を育てるための活動である。創造性、人間性を培うために積極的に参加しよう。

### ・部活動（放課後）

共通の興味や関心を持つ者が、自らの実践活動を通じて、民主的、自主的活動を身につけるとともに、自分の適性や技能を育成し人間形成に役立てようとするものである。積極的に参加し友情を育もう。

## 2 校外生活

### （1）登下校について

○常に早良高校生であるという自覚を持って行動しよう。

・校時表を基本に家を出る時間、帰宅する時間などを定め、規則正しく生活するよう心がけよう。また、登下校時間を守ること。

・交通機関を利用する生徒は、車中や駅等で品位ある行動をとること。

・無用の寄り道等で本校生としての品位をけがすことのないよう心がけること。遊技場その他生徒にとって好ましくない不健全な娯楽施設・飲食店等へは立ち入らないこと。

・交通道德、交通規則を守り事故防止につとめること。

・生徒証明書・生徒手帳を常に携行し、通学定期券、学割、生徒証明書等の使用についてはそれぞれの規定を厳守すること。

### （2）自転車、バイク等について

○在学中は原則として自動車・バイク等運転免許の取得を禁止する。

・徒歩、自転車通学生は必ず指定の通学路を通ること。

- ・自転車通学希望者は、学校の許可を得て、許可証（ステッカー）を所定の位置につけること。また、自転車運転免許証を、携行すること。
- ・校舎内では指定された自転車置き場に置き、必ず施錠（二重ロック）すること。

### （3）家庭生活、その他

○生活の基盤は家庭である。当然、家庭が人間形成のうえで中心となることが多い。家庭は重要な学問の場、思考の場であるとともに休息の場である。各人はこれらを念頭に置き、保護者との意志の疎通を密にし、自らが家庭を支える大事な柱であることを自覚して欲しい。また、保護者の監督下にある者だということを常に意識に置き行動することを望む。

外 出…外出の際は必ず行き先、帰宅予定時間などを保護者に告げておくこと。特に夜間の外出は禁止する。（福岡県青少年保護条例により、午後11時から午前4時までは深夜徘徊として補導の対象となる。）

外 泊…友人宅への外泊は好ましくない。もし外泊等の場合は保護者間の連絡の後にすること。また、旅行やキャンプ等は保護者、学校と相談の上、適当な指導者がいることが望ましい。

その他…在学中のアルバイトは原則として禁止する。

- 些細なことでも、異常があった場合は必ず学校に連絡すること。
- 長期の休業日については別に注意する。

## 3 環境美化

◎恵まれた自然環境に立地している本校において、校内美化に積極的に参加することによって、学習環境、生活環境をさらに充実させることに努めよう。

- 毎日の清掃、大掃除の要領は別に指示する。
- ゴミは可燃物、ペットボトルに分別して、ゴミ置き場に持って行く。
- 机、椅子その他の校具や施設等は大切に使用し、落書きなど絶対にしないこと。

## 4 諸届、許可願

◎届け出、願い出は集団生活を円滑にするためには不可欠である。各用紙の注意書きをよく読んで記入し、必ず提出すること。

〈事前に手続きができない場合は、口頭（電話）による学級担任への届け出後手続きをとること〉

- （1）事務室備えつけの用紙を用いるもの（学級担任を通じて学校長に提出するもの）  
休学願、休学延長願、転学願、退学願、保護者変更届、住所変更届
- （2）職員室（生徒部）備えつけの用紙を用いるもの（学級担任の認め印をもらい、各手続きをして生徒部の許可を必要とするもの）  
旅行・合宿等許可願、校舎・施設等の使用願、自転車通学許可願、住所変更届、異装許可願  
（学級担任に提出するもの）  
欠席・遅刻届、公認欠席（課）届、外出・早退許可願、破損届

## 5 生徒証明書

◎生徒証明書の取り扱いについて以下の点に注意すること。

- （1）本校生徒の身分を証明するものであるため、常に携帯しておくこと。
- （2）他人に貸与し、または譲渡することはできない。
- （3）紛失したときには、直ちに発行者に届け出ること。
- （4）新たな証明書の交付を受けたとき、または転・退学等によって学籍を失ったときは、直ちに発行者に返却すること。